



■ 名 前 (ふりがな)	馬塚 彩矢香
■ グループ名	
■ 学校名	浜松学芸高等学校
■ 学 年	高 1
■ 年 齢	16 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	馬塚 丈司 (父)

■ レポートした場所	静岡県浜名郡舞阪町付近
■ レポートの題名	よみがえれ遠州灘海岸
■ 内 容	<p>現在はアカウミガメの産卵地として知られるようになった遠州灘海岸は、愛知県と静岡県にまたがる全長 114 km にもなる海岸です。遠州灘海岸の中ほどにある舞阪海岸には、春になると、空からはコアジサシという渡り鳥の群れが、海からはアカウミガメが産卵のためにやってきます。初夏になると、ハマヒルガオ、ハマニガナなどの海浜植物がピンクや黄色の花を咲かせ、ヒバリやシロチドリは群生している海浜植物のなかで繁殖して海岸は生命の輝きに満ちています。</p> <p>今から 12 年前、4 歳だった私は父のウミガメの保護活動に同行して、夏になると舞阪の海岸を毎日のように歩いていました。ところが、そこは道路でもないのに車が走り回っていたために、すぐ近くを通り過ぎる車を気にしながら、わだちで凸凹になった海岸を足をとられながら歩いたものでした。この海岸ではコアジサシの数千羽の群れがコロニー（集団営巣地）を作って繁殖するため、広範囲に卵やヒナがいましたが、あちらこちらで車に轢かれたヒナや踏みつぶされた卵があり、ときには親鳥まで死んでいる姿を見ることもありました。野生生物だけでなく、海岸に遊びにきていた人達も被害にあったと聞きました。</p> <p>こんな状況を見かねて、父達は海岸の健全な利用方法を行政機関に訴え、四輪駆動車やサンドバギーなどの海岸への乗り入れ規制を求めていきました。この頃はまだ誰も車の乗り入れが海岸の荒廃原因になると思わなかったので、行政機関が父達の訴えを聞き入れてくれなかったそうです。そこで、父達は、緊急措置としてコアザサシのコロニー 20 万平方をクイとロープで囲い保護活動を開始しました。これによりコアジザシ</p>

への直接的な被害は最小限になったようです。しかし、年々四輪駆動車に乗る人が増えていくに従い、被害は、野生生物だけではなく堤防の欠損や海岸の荒廃が一層進み、ついに堤防が決壊する恐れがでてきました。この頃から環境保護の気運の高まりにも後押しされ一部の地方自治体による車止めによる規制が始まりました。その結果、舞阪や浜松市の砂浜は少しずつ回復に向い、風紋が美しい海岸を取り戻しつつあります。

2002年には海岸法の改正が国会を通過し、海岸への車両の侵入を規制する内容が盛り込まれましたが、3年目を迎える今年になってもまだ法律が施行されていないため、遠州灘海岸の東側では相変わらず車両が走行している海岸があります。砂浜は凸凹で海浜植物は無惨に後退し、海岸線が10年前の半分位になってしまったところもありました。車の乗り入れによる海岸の荒廃の仕組みを聞いたところ、車のタイヤが海浜植物の根を断ち切ってしまうと砂の移動が始まること、2トンもの重さのある車で繰り返し砂を踏んでしまうと砂の粒子が細くなり飛散らせてしまうこと、せっかく砂浜に小高い砂丘が出来ても車に山を崩されてしまうこと、踏みかためられた海岸線が沈んでしまうことなどから海岸がやせて浸食されてしまうことなどを教えてもらいました。また、車の海岸侵入により安易に荷物を海岸まで持ち込めるようになり、ゴミの不法投棄が多くなりゴミの量も増えました。残念ながら、四輪駆動車のブームが海岸にもたらしたものは、個人のレジャーの拡大と利便性の追求、個々のモラルの低下、海岸の荒廃だったように思えます。

同じ遠州灘海岸でありながら、地方自治体が積極的に対応した地域の海岸ではきれいな風紋が見られますが、それ以外の地域では縦横無尽にわだちのあとがあり、さらに海岸の荒廃が進んでいるようです。父達は、今もアカウミガメの保護活動をしなが、一日も早く車の走行がなくなるようにと自主的な海岸走行の抑制をずっと呼びかけています。こうした地道な活動は個々のモラルの向上を促すためにもとても必要なことだと思いますが、せっかく海岸法の改正が行われたのですから、地方自治体ももっと積極的に海岸の保護に目を向けて欲しいと思います。私も今回、12年前と現在の写真を見比べ、昔よりもきれいになった舞阪海岸を再認識出来たととてもうれしくなりました。そして、遠州灘海岸全域が美しい風景を取り戻し、人間も野生生物も安心して過ごせるようになるまで保護活動を手伝っていきたいと思います。

遠州灘海岸はなぜ荒廃したのか、その原因と、荒廃を食い止めるためにしなければならないことを考える

#### 添付写真説明

1. 車両が走行し深いわだちが出来た海岸を歩く
2. 車両が進入しなくなりわだちが消えてコアザサシが安心して群れる様子

